

第10回議会報告会(榎列) 意見交換会での質疑応答

No.	質 疑(意 見)	回 答
1	<ul style="list-style-type: none"> ・榎列小学校への通学路となっている県道及び市道は幅員が狭く、交差点がクランクになっているうえに、大型ダンプ等の通行量が多く、非常に危険でもあるので早急に道路及び交差点を改良し、地域の安全を確保していただきたい。 ・過去に道路計画があったが、自治会に過去の経緯等の情報が伝わっていない。 ・グリーンベルトが消えかけており、安全確保のためにも改修してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・過去から取り上げられている問題であるが、財政面で用地の問題もあり今後地元と一緒に取り上げていきたい。 ・市と自治会で相談する機会を設けていく。道路はすぐにできないので、警察にも協力を求めながら、補完施策も検討していく。 ・担当課に要望する。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・らんらんバスの費用対効果、利用人数は？費用対効果をどう考えているのか？今後どうするのか？ ・長田川の氾濫に関する改修工事の課題。のり面工事、内水対策、サイフォンについて今後どうなっていくか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・らんらんバスの費用対効果として、利用は年間約9万人、1億1700万円ほど事業費としてかかっている。高齢者が利用しやすいように、広報や経路を検討していきたい。県の方で、高齢運転者事故防止対策事業補助金があるので地域に伝えてほしい。 ・以前から県に要望をしているが、動きがないため再度確認し要望もしていく。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・福良地区公民館耐震補強・大規模改修工事の財源で、合併特例事業債は終わっていたかと思っているが使えるのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震改修については、1/3が国の補助、それ以外の大規模改修については合併特例事業債を使っている。

4	<p>・市の広報に載っていた「働くシニア応援プロジェクト」はどのようなことか？</p>	<p>・南あわじ市では高齢者の就業率が高い。市の政策は、ボランティアで地域に出ていきポイントを付与。現在、広報の掲載通りだが試行の段階。</p>
5	<p>・子育て支援、貧困についての質問が多い中、排除や漏れのないようにしてほしい。</p>	<p>・子育て支援・貧困対策については、国の法律制定があったのでこれから取り組んでいく。待機児童の解消については、市(いち)認定こども園ができることによってしっかりと取り組んでいく。教育の方も、南あわじ市の方では非常に力を入れ取り組んでいく。</p>
6	<p>・国衛の三叉路で非常に車が増えてきている。工事が始まっているが、代替地がないため突き当たりで止まっている。代替地が決まり道ができた場合、便利になることにより事故などの危険性が高まる。</p>	<p>・兵庫県下でも南あわじ市のほ場整備率が低かったため、ほ場整備を推進しているのは認識している。詳細については担当課に確認しておく。</p>
7	<p>・高萩では、お元気クラブがあり毎回25名参加している。他の地区では、活動状況はどうなっている？</p>	<p>・お元気クラブは、賀集独自のもの。八木地区では、チャレンジ事業としてフレイル予防をしており35名ほど参加。 ・いきいき百歳体操は、市内各地区で取り組んでいる。</p>
8	<p>・地主がいない土地の扱い方。遊休地・空き家問題にどのように対応していけばいいか？</p>	<p>・個人の財産は憲法29条で保証されている。行政もなかなか手を付けにくい。農業委員の方も苦勞している。農業委員会として文書を送ることはできるが、それ以上は難しい。 ・多面的機能をしている地区であれば、同意を得られれば補助が出る。空き家に関しては、法的手続きもあるので相談してほしい。</p>